

平成30年度 藤枝順心中学校・高等学校 学校評価(前期) (評価規準 A:十分に実践されている B:ある程度実践されている C:不十分である D:分からない)

建学の精神 女性の自律・自主と先度他の心の涵養						
教育目標 白梅精神のもと、「清楚な生徒」、「芳香を発する生徒」、「忍耐のできる生徒」を育てる。						
本年度の重点目標 ①学習指導の充実 ②進路指導の充実 ③生活指導の充実 ④情報発信の充実 ⑤健康管理 ⑥安全管理						
重点目標	評価項目	具体的方策又は評価項目を評価する具体的な指標	評価	成果及び来年度への取り組み	評価	学校関係者からの意見
①学習指導の充実	アクティブ・ラーニング	<ul style="list-style-type: none"> 大学入試改革に向けて、アクティブ・ラーニング、ICTを利用した授業の実践方法、必要設備について模索する。〔5教科による、年2回の研究授業及び、授業検討会を行う(前期はICTを利用)〕 	B	<ul style="list-style-type: none"> 5教科は6月までに研究授業を行い、検討会も実施できた。各教科1台のiPadも購入され、さらに研修を進める準備もできた。 研究授業というよりも、模範授業という要素が強く、記録して後に見られるようにしてほしい。 PCを使った授業の方が、生徒の反応は良いが授業の進度は遅れる。 中高部は少人数ということもあり、アクティブラーニングはスムーズに行えた。 研究授業は全職員の参加、意見交換が大切かと思う。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 研究授業については、教員の意見だけでなく生徒の反応をしっかりと検証し、後期における実施及び次年度の取り組み方に期待します。 PCを使った授業で生徒のやる気が出るのであれば、是非進めてください。 ICT利用(ハード)とアクティブラーニング(ソフト)の一層の推進により先進校を目指し、「文武」のバランスがとれるよう「文」の向上を図りたい。
	学力分析と学習方法の考察	<ul style="list-style-type: none"> ベネッセの到達度テスト(基礎力診断テスト及びスタディサポート)を利用し、事前教材を使って学習量を増やす。事後の結果から学力の抜け漏れを確認しそれを補う指導をする。 河合塾・ベネッセの模擬試験を通して、志望校合格のための学力や学習内容を認識させる。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ベネッセの学力指標は、ある程度定着してきた。また、事前、事後の学習量を増やす対策もとられた。 大学進学模試は、苦戦している。努力の継続が必要。 進路指導の職員研修を実施してはどうか。 事後指導に力を入れていきたい。 進学クラスに対する模擬試験対策を工夫したい。 到達度テストの結果を、教科担当に知らせ、授業の中で補えるようにしたい。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 現在の生徒の学力を確認し、目標を明確にするなどの取り組みが発展途上だと思いますので、今後も継続した指導をお願いします。 進学クラスに対する模擬試験対策、学習指導をもう少し力を入れてもらいたいと思います。 足りない部分を重点指導することにより、「面倒見の良い」学校という評価の向上を図りたい。 進路指導に関する職員研修の実施を望みます。
②進路指導の充実	就職指導	<ul style="list-style-type: none"> 3年後の就職を意識させ、3年間を見通した指導計画を提示。 希望する企業から説明を受ける機会を設ける。(本校に20社程度来校する予定) 職場見学や卒業生等による講話を通して、会社への理解を深め社会人になることへの意識高揚を図る。 徹底した面接指導及び基礎学力の充実を図り、希望する会社への内定を勝ち取る。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 就職希望者数65名 内定者数57名(10/24現在) 本年度、各業種の企業19社が来校し、希望する2・3年生は企業から説明を受け、企業理解に役立った。 3年生は、2年時の11月から矢崎新聞店の好意により、週1回新聞の提供を受け、タイムリーな情報を受けることができた。 2年生の11月から週1回新聞を読む指導開始。また、就職希望者全員の個別面接を実施。・多くの先生方に面接練習をお願いしたのは大変良かった。 1年生に対する就職指導課の先生方の話を聞ける機会が欲しい。 職業調べ、働くことの意味など広い意味のキャリア教育が必要。 インターンシップの機会をさらに増やしたい。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 夏休みを返上してのご指導ありがとうございます。 新聞による指導は、今まで新聞を読むことがほとんどなかっただけに、良い取り組みだと思います。今後も続けてください。また、企業を呼んでの説明会も続けてください。 順心の特色ある「礼法」をアピールすべきだと思う。挨拶、言葉遣い、笑顔、清潔感、すべて大事です。 100%の就職率を目指すと同時に、レベルの高いところへ挑戦してほしいと思います。
	進学指導	<ul style="list-style-type: none"> 国公立大学&中堅以上私大推薦入試合格4名、一般入試合格4名(センター試験70%を目標として実力養成) 高大接続改革(CBT・問題解決能力・ポートフォリオ試験)への対応 高校基礎学力テスト(高大接続改革に伴う)への対応 年2回の進路ガイダンスの改善充実。 外部模試の準備・受験・復習の充実 スコラで計画的な学習習慣を、スタディサプリと受験対策講座で学力をつける。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の進学に対する意識がとにかく高くない。職員研修も含め、全職員で取り組む体制が就職のように欲しいと感じる。 高大接続改革への対応は少しずつ始めている。 スコラ、サプリは進学指導課の呼びかけ不足。担任の先生への協力要請が必要。 優秀な生徒を絞り込み、勉強合宿を行うなどの企画も必要か。 推薦入試の生徒が多いため、そのレベルに応じた学習指導や小論文指導が必要である。 進路ガイダンスは充実してきており、部活で忙しい生徒の進路選別に役立っている。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 大学進学を目指す生徒に対して、大学で何を学び、それを将来どう生かすのか社会に出てからの目標は何かなどの、生徒の意識改革が必要だと思います。 進路ガイダンスはとても参考になりました。 進学クラスの勉強合宿は、是非実施してもらいたい。 就職指導と同様、少しでも高みを目指す生徒が輩出できるよう、先生方も研鑽に努めてほしい。 大学進学へのサポート体制は、中高一貫と高校部では指導に差があると感じています。

重点目標	評価項目	具体的方策又は評価項目を評価する具体的な指標	評価	成果及び来年度への取り組み	評価	学校関係者からの意見
③生活指導の充実	礼法教育の実践	<ul style="list-style-type: none"> 「your steps」に従い美しい所作を指導する。(椅子の掛け方、歩き方、ドアの開け方、お茶の入れ方など) 会食指導は礼法にかなった食事作法を実践する。 会釈・挨拶の励行をし、場に応じた挨拶の指導をする。 「授業をする上での留意すべき事項」に従い、礼法指導に即した授業実践をする。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 「your steps」を利用する機会があまりない。HRで利用するような計画を立てたい。 会食の目的・目標の職員研修が必要か。(形骸化を感じる) 会釈・挨拶は年々できなくなっているように感じる。 実践できている。細かい生活面での礼法については、常に注意をしている。 校内、校外で差が出るのは致し方ないが、場に応じた対応を是非身につけさせたい。 中学生への指導は丁寧にしていく必要がある。 教員と敬語で話せない生徒が増えてきている。適切な言葉遣いを意識させたい。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 日々の生活では、礼法を学ぶ場はありません。学校での指導よろしく願います。 運動部の挨拶はとても気持ちのいいものです。運動部以外の生徒も気持ちのよい挨拶ができるようになればと思います。 礼法は就職してから役立つものです。他校にはありません。粘り強いご指導願います。
	生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 「情報収集→まとめ→分析→報告」を繰り返し、教師相互の共通理解を図り、指導にあたる。 一報を通して迅速な情報共有に努める。 週番活動を通して校風高揚に貢献する姿勢を指導する。 校風向上習慣、マナーアップキャンペーンで清楚な身なりを指導する。 清掃活動を通して環境美化に努め、施設を丁寧に使用することを指導する。 教室内の整理整頓を通して私物の管理を正しく行い、清潔な生活感覚を育てる。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導のシステムはできている。 清掃指導は、教員側の研修が必要。本校の清掃活動の意義を共有したい。 マナーアップキャンペーンの意義を再検討したい。 学年が上がるにつれ指導が定着し、しっかりした上級生になると言われているが、服装・髪形などはそうではないと感ずることがある。 中学生にも、何らかの形で週番活動に参加できることが望ましいと感じる。 指導を受ける生徒は、年々減っていると感じる。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導については、PDCAサイクルの実践により、改善が図られていると思います。 清掃指導などの様子は、保護者にはわかりませんが、トイレ・中庭などとてもきれいになっているので、指導のおかげかなと思います。 制服もきちんと着こなしていて、清潔感があります。 通学中の自転車マナーがとても良いと思う。指導がきちんとなされていると思いますし、それを素直にきちんと行える生徒が素晴らしいと思います。 順心生の登下校の姿を見ると、他校の生徒と比較して格段にマナーの良さを感じます。
④情報発信の充実	学年通信 学級通信	<ul style="list-style-type: none"> 通信を、学年主任・担任と保護者とのコミュニケーションの一つと捉え、学年・学級の状況を伝える。 〔月1回発行〕 	B	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に発行できている。 定期的に発行できず、滞っている。 宿泊を伴う行事や体育大会、文化祭など保護者が関心があるイベントについては通信で伝えていきたい。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 学年通信・学級通信には、学校での子供の様子や先生方の指導に対する熱意や思いを保護者に伝えていただく役割があります。お忙しいとは思いますが、学年、学級でばらつきがないよう定期的な発行をお願いします。
	オープン キャンパス	<ul style="list-style-type: none"> オープンキャンパスは年2回実施し、担任とのコミュニケーションを図る機会とするなど学校理解の促進に努める。 〔参加率70%達成をめざす〕 	B	<ul style="list-style-type: none"> 参加率 32% 保護者と話せる機会は持てたが、参加を促せるような機会は持てなかった。後期への反省としたい。 希望すれば、担任・部活顧問と面談ができるように案内に記載したらどうか。 行事に合わせたものにしたらどうか。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 5年連続して参加率が低下しています。保護者が高い関心を示す企画の検討が必要かと思っています。 オープンキャンパスに参加しても、保護者が少ないため行きにくいと感じます。
	ホーム ページの 活用	<ul style="list-style-type: none"> 情報発信のタイムリー性と実用性の向上 学年・分掌・教科内での原稿作成者決定(行事、検定等) 各行事の更新担当を明記 部活動記録の月毎の更新 	A	<ul style="list-style-type: none"> タイムリーで十分な活用ができていると思う。 現役生徒や職員紹介など、いろいろなコーナーを設けたらどうか。 校内の行事の紹介などアップしたい。 本校職員がどの程度見ているのだろうか。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ホームページについては、最新の内容に随時更新されており、情報発信ができています。 中学・高校を選ぶ際の参考になっていると思います。

重点目標	評価項目	具体的方策又は評価項目を評価する具体的な指標	評価	成果及び来年度への取り組み	評価	学校関係者からの意見
⑤健康管理	保健管理 保健教育 健康相談	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の健康観察、定期健康診断の実施 ・校内の救急体制を整備し、家庭との連携を密にする。 ・生徒の成長や実態に即した健康教育を実施する。 ・健康相談の充実を図り、生徒の支援を行う。その際、必要に応じ、スクールカウンセラーとの連絡を密にする。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・きめ細やかな指導、報告がなされている。 ・学校、家庭、教員、養護教員、カウンセラーとの連携がうまくとれている。 ・クラスの生徒や学年の生徒を見ていて、健康的な学校生活が送れているように思う。 ・保健室の利用カードで、生徒の状況が把握できるので助かっている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・一番大事な健康への指導、いつまでも継続できるように期待します。 ・スクールカウンセラーとの連携もスムーズなようで、安心して通学できることに感謝しています。
⑥安全管理	避難訓練の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・本校独自の避難訓練を年2回実施 〔6月は従来通りの訓練 9月は突然の訓練を実施〕 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・6月は、「本校防災対策マニュアル」「暴風警報への対応」を周知し、講堂からの避難訓練を実施。 ・9月は、避難訓練実施後、備蓄品の試食を行い、好評であった。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・防災に対する訓練は、マニュアルの整備はもとより、実効性のある訓練を継続的に行うことが重要だと思いますので、引き続き「命を守る訓練」への取り組みをお願いします。 ・備蓄品が充実しているのはありがたい。地域への貢献も期待したい。
	職員防災体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・防災関係の職員研修会を実施(7月) ・初期消火訓練、救急対策講習会などの実践的訓練を通し、職員の意識向上を図る。 ・職員の役割分担の周知、徹底をはかる。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、本校の防災対策マニュアルの講習を行った。また、職員の役割分担について周知をはかった。 ・消火器、火災時の防火扉、消防ホースの位置など定期的に確認する機会を設けたい。 ・数年間の計画で、多岐にわたる研修を実施したらどうか。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方の防災演習は十分できていると思います。また、防災に対する意識向上は重要だと思います。実施した訓練を検証し、今後の訓練に役立ててください。 ・消防士の話を聞く機会を持ったらどうでしょうか。